

第342号 平成26年9月

東京都農業会議情報

編集及び発行 東京都農業会議

立川市柴崎町3-5-24
TEL 042-525-0870

就任にあたって



青山会長

東京都農業会議会長 青山 侑

とめを行って参りました。農業委員会系統組織を巡る厳しい情勢のなか、東京都の農業委員会がこれまで行ってきた活動を誇りに発言して参りたいと存じます。

東京都農業政策に関する建議など決定

新役員・監査委員を選任

第115回東京都農業会議通常総会

去る8月19日に開催いたしました第115回通常総会におきまして、これまで5期15年に亘る波多野前会長が勇退され、会長に就任いたしました青山侑(やすし)でございます。昭和42年に東京都に入り、4年間東京都副知事を務めた後の平成15年に退職、現在は明治大学公共政策大学院教授のほか、自治体政策・都市政策等をテーマに活動しています。

平成25年度から、全国農業会議所の『農』のある暮らしづくり支援対策事業検討委員会」の委員長として、地域農業の重要性について取りま



須藤副会長



吉川副会長

都農業会議は8月19日、第115回通常総会を開き、①6号会議員の辞任および②選任、③平成25年度事業報告お

都市農業基本法の制定が目の前に見えてきました。その実現と実効ある施策展開に向けて全国運動の先頭に立って活動して参ります。

須藤副会長(江)

A中央会・各連会長、吉川副会長(町田市農委(会長)共々、地域農業の発展に向け、微力ではございますが精一杯努力いたします所存でございます。皆様には倍旧のご指導とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

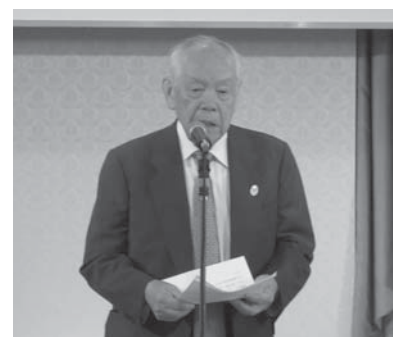
よび④歳入・歳出決算の承認、⑤東京都農業政策に関する建議(2面)の5議案を決定しました。協議では、組織を巡る情勢を説明し、対応を図ることとしました。

また、任期満了に伴う役員および監査委員の選挙を行い、次の会議員が就任しました。会長 青山侑(学識経験・新任) 副会長 吉川庄衛(町田市・新任) 須藤正敏(JA中央会・新任) 監査委員 杉崎一三六(調布市・新任) 井上吉夫(利島村・新任)

都農業会議創立60周年記念式典・祝賀会開く

都農業会議は、8月19日に創立60周年記念式典・祝賀会を90名の来賓・会議員の出席を得て中野サンプラザで開きました。

波多野会長(当時)の主催者挨拶、山本都産業労働局長、吉野都議会議長、竹内市長、全国農業会議所松本専務、須藤JA東京中央会・各連会長の来賓挨拶に続き、功労者に対し、知事感謝状(4名)、全国農業会議所会長表彰状(14名)、都産業労働局



挨拶を述べる波多野重雄会長(当時)

島しょ農業の活性化に関する要望など決議

瑞穂町の新規就農者の受入れなど研究

島しょ農業委員会協議会(沖山慶孝会長)八丈町)は、9月2〜3日に第27回

島しょ農業委員・農業者大会を開き、6島から農業委員など34人が出席しました。



瑞穂町で新規就農した佐藤成慶さん(左から2人目)の圃場を見学する

2日の大会では「島しょ農業の活性化を支える施策に関する要望」と「島しょ農業委員会活動の積極的推進」を決議し、また、「島民とともに育てる島の農業と農業委員会活動」をテーマに、意見交換を行いました。3日には、瑞穂町の遊休農地解消と新規就農者受入れの取り組みについて研究しました。

東京都農業政策に関する建議要旨

8月19日開催の第115回東京都農業会議通常総会で決定された「東京都農業政策に関する建議」オリンピック・パラリンピック開催都市にふさわしい豊かな食と緑のある東京へ」の要旨は左記のとおりです。

1. 農業のある東京に向けた政策の再構築

来る二〇二〇年にオリンピック・パラリンピックが開催されるにあたっては、時代の要請にこたえた豊かな食と緑がある新しい都市像を構築することが求められており、将来にわたり農業のある都市を実現するための総合的な政策を早急に構築する必要がある。

2. 都内産農産物の増産と担い手支援

(1) 都内産農産物の確保と生産振興

オリンピック・パラリンピックの開催準備から会期中まで、必要な食材や花き、植木のうち都内産で確保するものをリストアップし、計画的な増産へ向けた生産振興を促すこと。なお公共事業に使用

する花き・植木は、その50%以上を都内産で確保する規定を設けること。

(2) 都心への恒常的な農産物供給ルートの確立

都心の消費者へ都内産農産物を届ける供給ルートの確立が求められていることから、オリンピック・パラリンピック開催を契機として都内産の新鮮な農畜産物を集荷して都心へ届ける恒常的なルートと手法を確立すること。

(3) 都内産農産品アンテナショップの開設

いつでも手軽に都内産の農産物や加工品が手に入り、情報発信と流通の拠点となるようなアンテナショップを都心に開設すること。

(4) 農業施設の導入・整備の支援

生産力の向上を図る担い手農家を後押しするため、必要な農業施設等の導入・整備を積極的に支援すること。

3. ブランドの確立と情報発信の強化

(1) 都内産農産物ブランドの確立

都内産農産物の価値の向上

に向け、「東京ブランド農産物認証制度」(仮称)を創設するとともに国内外に向けたPR戦略を構築して地域ブランドの確立をはかること。

(2) 都内産農産物の機能性の研究・発信

食の安全・安心に配慮して都内で生産されている地域特産の農産物について、さらに健康に与える機能性を研究し、積極的に発信すること。

(3) 情報収集・発信の強化

東京を訪れる人々や都民が常に最新の情報を入手できるように、情報を集約するシステムを構築するとともに、発行物やWEBサイトによる情報発信を強化すること。

4. 農業後継者の支援

農業後継者を支援するため、就農した後の数年間、農業後継者の収入をサポートする「農業後継者育成給付金事業」(仮称)を創設すること。

5. 6次産業化と農商工連携の推進

農業経営の6次産業化や新商品開発を支援する施策を構築するとともに、関連する産業や分野との連携強化を支援すること。

常任会議員だより

第5回常任会議員会議

平成26年8月19日に開催し状況は次のとおり。

議事

① 改選に伴い議席を決定した。

② 農地法の規定に基づく知事諮問は、第4条1件72・17㎡、第5条2件555㎡について許可相当と答申する旨決定した。

農業委員会だよりなどについて研究

広報研究会

都農業会議は、9月10日に南新宿ビルにて、広報研究会を開き、農業委員や農業委員会職員など約70名が参加しました。

これは、農業委員会の情報活動について研究しよう

と開かれたもので、都内40以上の農業委員会で発行されている農業委員会だよりなどの情報誌の作成について

て理解を深めました。研究会では、情報活動の重要性や、農業委員会だよりなどに掲載する記事の書き方などについて、具体的に研究しました。

また、農業委員会だよりの取り組みについて、瑞穂町、多摩市、立川市、武蔵野市より、事例発表を行いました。

さらに、全国農業会議所情報事業本部長の稲垣照哉氏から、農業委員会をめぐ

る情勢と全国農業新聞の普及推進について、説明しました。参加した農業委員は「統一改選に伴い、農業委員会だよりの編集を担当することになったので、今日学んだことを今後活かしたい」と話していました。



左から瑞穂町、立川市、武蔵野市、多摩市の農業委員会だより。工夫が凝らされて作られている。

常任会議員名簿

(敬称略・9月1日現在)

- 荒堀安行 (足立区)
- 岩楯重治 (江戸川区)
- 村野和男 (福生市)
- 宮川 修 (羽村市)
- 吉川庄衛 (町田市)
- 小暮和幸 (多摩市)
- 松本一宏 (稲城市)
- 粕谷秀夫 (立川市)
- 井口良美 (武蔵野市)
- 肥沼和夫 (東村山市)
- 榎戸岩男 (国分寺市)
- 松村俊夫 (清瀬市)
- 沖山慶孝 (八丈町)
- 須藤正敏 (中央会)
- 小林辰男 (農業共済)
- 横山和男 (信連)
- 若林政夫 (基金協)
- 須藤正敏 (改良普及協)
- 産形 稔 (農林振興財団)
- 野崎啓太郎 (全農)
- 松原宏武 (全共)
- 吉野利明 (都議会議員)
- 高橋信博 (都議会議員)
- 藤野 勝 (市長会)
- 石塚幸右衛門 (町村会)
- 青山 侖 (学識経験)
- 清水武男 (経営者クラブ)

*改選のため1名欠員

東京都農業会議創立60周年

記念功労表彰者 (敬称略)

1. 東京都知事感謝状贈呈者

- (計4名)
- (1) 農業会議員
- 小林辰男 (農水財団・農業共済)
- 波多野重雄 (学識経験)

石塚幸右衛門 (町村会)

(2) 農業会議職員

原 修吉

2. 全国農業会議所会長表彰

状贈呈者 (計14名)

(1) 農業会議員

- 清水宏悦 (葛飾区)
- 宮川 修 (羽村市)
- 上野正男 (日の出町)
- 肥沼和夫 (東村山市)
- 榎戸岩男 (国分寺市)
- 廣瀬信郎 (御蔵島村)
- 菊池勝男 (八丈町・基金協会・全農都本部)
- 小林辰男 (農水財団・農業共済)

石塚幸右衛門 (町村会)

(2) 農業会議職員

- 原 修吉 北沢俊春
- 相原宏次 深澤 司
- 権藤綾子

3. 東京都産業労働局長感謝

状贈呈者

農業会議員 (8名)

清水宏悦 (葛飾区)

宮川 修 (羽村市)

濱野芳男 (奥多摩町)

肥沼和夫 (東村山市)

榎戸岩男 (国分寺市)

廣瀬信郎 (御蔵島村)

菊池松太郎 (青ヶ島村)

早川 保 (小笠原村)

4. 東京都農業会議会長表彰

(22名)

(1) 農業会議員

- 松澤育男 (板橋区)
- 清水宏悦 (葛飾区)
- 岩楯重治 (江戸川区)
- 川鍋良一郎 (青梅市)
- 野崎 博 (福生市)
- 平野正延 (あきる野市)
- 宮川 修 (羽村市)
- 岸 関雄 (瑞穂町)
- 上野正男 (日の出町)
- 濱野芳男 (奥多摩町)
- 原田 實 (稲城市)
- 肥沼和夫 (東村山市)
- 榎戸岩男 (国分寺市)
- 高木 光雄 (狛江市)
- 眞野忠彦 (東大和市)
- 前田隆夫 (利島村)
- 菊池松太郎 (青ヶ島村)
- 早川 保 (小笠原村)
- 小林辰男 (農水財団・農業共済)

石塚幸右衛門 (町村会)

(2) 農業会議職員

松澤龍人 田中 誠

農業委員会制度見直し等改革案への意見要旨

都農業会議は8月19日開催の通常総会において、去る6月24日に閣議決定された、農業委員会制度見直し等の改革案の主な項目について、意見をとりまとめました。

〔意見の要旨〕

(1) 公選制の廃止と市町村長の選任制への移行について

◎「農業委員に適切な人を透明なプロセスを経て選出する方法」は、選管委員会の所掌により実施する公選制を基本とする現行の農業委員会制度が、公平性・透明性のある選出方法としてベストである。

(2) 意見の公表・建議等の法令業務からの削除について

◎建議や意見の公表等は、公平性・透明性を持ち、合議体である公選制を基本とした農業委員会が決定し、法令業務として執行していることに重みがあり、農地・農業行政の推進に重要な意義がある。

(3) 農業委員定数の削減と「農地利用最適化推進委員」の新設について

◎「農業所得を10年間で倍増させることを目指し、その手段の一つとして、農地

の8割を担い手に農地集積し、競争力のある農業経営を創出する」という農業政策の目標達成のためには、地域のことを最もよく知る農業委員が不可欠であり、委員数の半減は、その目的に相反する提案と考える。

◎農地利用最適化推進委員については、現行の農業委員活動そのものであり、新たに農地利用最適化推進委員を置くことに疑問がある。報酬についても格差があり、使命感のある活動を望むことは難しい。

(4) 農業委員会職員の人事サイクルの長期化について

◎長期化は、職員のキャリア形成等の観点から難しい。職員の専門性は、系統組織としての農業会議職員のフォローにより補完されるべき。職員の増員の方がスムーズな窓口対応や所掌事務が可能となる。

(5) 都道府県農業会議・全国農業会議所について

◎「農地保全と利用促進および農業経営支援」に特化した現行の法人格が「系統組織」として、地域農業の活性化につながるものである。

東京都農作物生産状況調査結果概要

都農業会議は、東京都の委託を受け、平成24年産の東京都農作物生産状況調査をとりまとめました。

本調査の実施にあたりましては、調査対象者各位はもとより、農業委員会をはじめ区市町村、JA、関係機関より多大なるご協力をいただきましたこと、あらためてお礼申し上げます。また、本調査は、平成19年産以降、毎年、実施するものです。

本年度につきましても、本調査の実施につきましてご協力を賜りますこと、あらためて、お願い申し上げます。

ここで、調査結果の概要などを報告します。

【調査名】

東京都農作物生産状況調査（平成24年産）

【調査対象期間】

平成24年1月～12月

【調査対象区市町村】

49区市町村

（農地のある都内区市町村 ※北区を除く）

【調査対象者】

農業経営面積10アール以上の農家

【対象作物】

野菜・花き・果樹・穀類・
工芸作物・植木・グラウンドカバー

【調査項目】

作付面積、出荷量（花きなど）、生産本数（植木）など

【調査状況】

- ① 調査対象者 1万4千867戸
- ② 調査回収 1万472戸（回収率約70・4％）
- ③ 有効回答 1万21戸（有効回答率約67・4％）

【調査結果概要】

東京都全体・地区別・区市町村ごと

① 農業産出額Ⅱ5ページに掲載

② 農業産出額順位（野菜・果樹・花き・工芸作物のみ対象）Ⅱ5ページに掲載

③ 作付のべ面積Ⅱ5ページに掲載

④ 平成19年産～平成24年産の東京都の主要野菜作付面積・収穫量の推移Ⅱ4ページに掲載

東京都の主要野菜作付面積・収穫量の推移

平成20年度(平成19年産)			平成21年度(平成20年産)			平成22年度(平成21年産)		
品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)
こまつな	427	7,354	こまつな	494	9,510	こまつな	476	8,972
ほうれんそう	313	3,547	ほうれんそう	340	3,957	ほうれんそう	325	3,804
キャベツ	252	9,795	ばれいしょ	280	5,622	ばれいしょ	293	5,893
ばれいしょ	237	3,082	だいこん	239	10,102	だいこん	250	10,627
さといも	208	1,788	キャベツ	235	10,289	キャベツ	241	10,598
だいこん	186	5,985	さといも	221	2,285	さといも	216	2,235
ブロッコリー	175	1,635	ブロッコリー	215	2,247	ブロッコリー	213	2,233
とうもろこし	163	1,581	とうもろこし	181	1,673	とうもろこし	189	1,750
えだまめ	156	1,404	ねぎ	153	3,020	かんしょ	162	2,546
ねぎ	141	2,287	かんしょ	148	2,305	ねぎ	152	3,073

平成23年度(平成22年産)			平成24年度(平成23年産)			平成25年度(平成24年産)		
品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)
こまつな	465	8,960	こまつな	456	8,792	こまつな	465	8,898
ほうれんそう	331	3,836	ほうれんそう	327	3,755	ほうれんそう	306	3,572
ばれいしょ	299	5,937	ばれいしょ	296	5,915	ばれいしょ	287	5,779
だいこん	245	10,259	だいこん	243	10,068	だいこん	234	10,025
キャベツ	220	9,488	キャベツ	216	9,461	キャベツ	212	9,323
さといも	211	2,135	さといも	207	2,128	さといも	200	2,055
ブロッコリー	202	2,086	ブロッコリー	199	2,069	ブロッコリー	194	2,024
とうもろこし	178	1,639	とうもろこし	178	1,635	とうもろこし	181	1,686
かんしょ	161	2,348	ねぎ	160	3,138	ねぎ	158	3,204
ねぎ	156	3,137	かんしょ	158	2,320	かんしょ	150	2,239

区 分	作付面積 (ha)	農業産出額 (千万円)	農業産出額順位(野菜・果樹・花き・工芸農作物の順位のみ掲載)				
			1位品目	2位品目	3位品目	4位品目	5位品目
目黒区	4	2	トマト	ぶどう	なす	こまつな	きゅうり
大田区	3	2	シクラメン(鉢もの)	こまつな	洋らん(鉢もの洋らん類)	ほうれんそう	かんしょ
中野区	5	2	トマト	カリフラワー	なす	だいこん	ばれいしよ
世田谷区	159	40	花き類	トマト	ぶどう	こまつな	えだまめ
杉並区	58	33	トマト	なす	きゅうり	こまつな	だいこん
板橋区	17	5	ぶどう	トマト	かんしょ	えだまめ	だいこん
練馬区	272	116	トマト	キャベツ	ぶどう	えだまめ	ブルーベリー
足立区	119	74	こまつな	えだまめ	トマト	ムラメ	きく(切花)
葛飾区	74	38	こまつな	えだまめ	トマト	ねぎ	ほうれんそう
江戸川区	184	146	こまつな	トマト	えだまめ	しんとり	たかな
特別区計	895	459	こまつな	トマト	えだまめ	キャベツ	ぶどう
青梅市	402	106	トマト	なす	ばれいしよ	きゅうり	ブルーベリー
福生市	9	4	トマト	なす	かんしょ	パンジー・ビオラ(苗もの)	ばれいしよ
あきる野市	302	101	トマト	なばな	なす	とうもろこし	ねぎ
羽村市	43	19	トマト	パンジー・ビオラ(苗もの)	なす	ねぎ	きゅうり
瑞穂町	171	81	トマト	なす	きゅうり	ねぎ	ほうれんそう
日の出町	85	28	トマト	ばれいしよ	きゅうり	なばな	なす
奥多摩町	34	19	わさび	みょうが	トマト	しいたけ	ばれいしよ
檜原村	32	14	ばれいしよ	みょうが	トマト	さくらそう(鉢もの)	シクラメン(鉢もの)
西多摩計	1,079	372	トマト	なす	ばれいしよ	きゅうり	ねぎ
八王子市	765	260	トマト	こまつな	なす	ほうれんそう	きゅうり
町田市	491	192	トマト	なす	ほうれんそう	ブルーベリー	こまつな
日野市	138	93	日本なし	トマト	ブルーベリー	ぶどう	なす
多摩市	34	13	トマト	ブルーベリー	なす	ばれいしよ	ねぎ
稲城市	131	126	日本なし	ぶどう	トマト	なす	かき
南多摩計	1,558	684	日本なし	トマト	なす	こまつな	ブルーベリー
立川市	350	111	トマト	ほうれんそう	日本なし	こまつな	うど
武蔵野市	43	23	トマト	こまつな	ぶどう	日本なし	えだまめ
三鷹市	204	92	トマト	なす	ぶどう	ブルーベリー	えだまめ
府中市	118	95	こまつな	日本なし	トマト	ねぎ	えだまめ
昭島市	56	28	日本なし	トマト	こまつな	パンジー・ビオラ(苗もの)	なす
調布市	154	70	トマト	こまつな	ぶどう	えだまめ	なす
小金井市	79	34	トマト	なばな	こまつな	なす	ほうれんそう
小平市	227	105	日本なし	トマト	なす	こまつな	えだまめ
東村山市	172	86	日本なし	トマト	かんしょ	ぶどう	パンジー・ビオラ(苗もの)
国分寺市	161	61	トマト	ブルーベリー	なす	うど	えだまめ
国立市	41	16	ほうれんそう	トマト	こまつな	なす	日本なし
西東京市	178	104	トマト	こまつな	日本なし	キャベツ	ぶどう
狛江市	40	19	トマト	えだまめ	なす	ねぎ	こまつな
武蔵村山市	144	52	こまつな	ほうれんそう	トマト	日本なし	なす
東大和市	61	23	日本なし	トマト	なす	だいこん	ほうれんそう
清瀬市	232	97	ほうれんそう	にんじん	クリスマスローズ(鉢もの)	トマト	こまつな
東久留米市	202	84	ほうれんそう	トマト	こまつな	えだまめ	だいこん
北多摩計	2,462	1,101	トマト	日本なし	ほうれんそう	こまつな	なす
多摩地域計	5,099	2,157	トマト	日本なし	こまつな	ほうれんそう	なす
大島町	233	39	ブバルディア(切花)	ツバキ(実)	あしたば	アスパラガス(切葉)	ガーベラ
利島村	160	2	ツバキ(実)	しどけ	あしたば	-	-
新島村	25	12	あしたば	かんしょ	たまねぎ	レザーファン(切葉)	トマト
神津島村	17	12	あしたば	レザーファン(切葉)	パッションフルーツ	ミニトマト	かんしょ
三宅村	51	29	あしたば	ドラセナ(切葉)	トマト	かんしょ	さといも
御蔵島村	7	2	あしたば	エビネラン(鉢もの)	-	-	-
八丈町	360	185	フェニックス・ロベレニ-(切葉)	フリージア(球根切花)	あしたば	フェニックス・ロベレニ-(観葉鉢もの)	とうがらし
青ヶ島村	18	3	とうがらし	かんしょ	フェニックス・ロベレニ-(切葉)	さといも	ばれいしよ
小笠原村	13	12	パッションフルーツ	レモン	マンゴー	ミニトマト	トマト
島しょ計	882	296	フェニックス・ロベレニ-(切葉)	あしたば	フリージア(球根切花)	レザーファン(切葉)	フェニックス・ロベレニ-(観葉鉢もの)
東京都計	6,876	2,912	トマト	こまつな	日本なし	ほうれんそう	なす

※ 植木と畜産は除く

永年勤続表彰・講演会開く

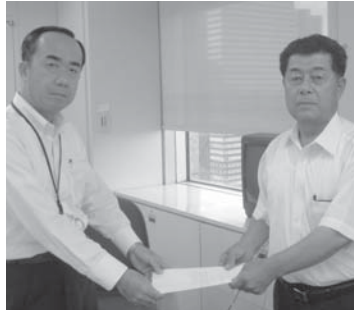
東京都農業委員会職員研究会が全体研究集会開く

東京都農業委員会職員研究会（篠崎道明会長）は、8月29日に、全体研究集会を南新宿ビルにて開きました。はじめに、第40回永年勤続表彰を行い、会員13名が表彰されました。（写真）

東京都へ「要望」の実現を要請

都農業経営者クラブ（清水武男会長）は7月28日、都に対する要請を行いました。区市の農業経営者クラブ会長など役員らが都庁を訪問し、寺崎農林水産部長に6月の総会で決定した「東京農業の確立に関する要望」を手渡し、要望の実現を要請しました。

また、都農林水産部の幹部らと地域農業をめぐる課題な



要望書を手渡す清水会長（右）と寺崎農林水産部長（左）

引き続き、農林水産省都市農業室の沖和尚室長より、都市農業の情勢等についてテーマに記念講演を開きました。表彰者は左記の13名です。▼藤田茂輝・今茂（足立区）

東京都農業経営者クラブ

都農業経営者クラブと農業会議は、東京の農業者と消費者が共に学び新たな関係を築く場とするため、都消費者月間実行委員会と共催で「食と農セミナー」を開催します。日時：平成26年12月10日（水）、午後2時より 会場：中野区・中野サン

「食と農セミナー」を開きます

プラザ13階コスモルーム 主な内容①小泉武夫さん（農学博士・東京農業大学名誉教授）による講演「都市農業で健康長寿の食生活をつくらう」、②農業者と消費者の意見交換会

参加を希望される方は区市町村の農業委員会事務局へお申し込みください。

- ▼吉田肇・佐藤香（葛飾区）
- ▼中山裕子（青梅市）
- ▼井上悟（瑞穂町）
- ▼新海紀代美（立川市）
- ▼榎澤有一（府中市）
- ▼小沢茂（狛江市）
- ▼百々和彦（東村山市）
- ▼奥山拓（八丈町）
- ▼渋谷正昭・持田憲一（小笠原村）（敬称略）



表彰を受ける葛飾区の佐藤香さん（右）

平成26年度下半期主要行事日程

平成26年9月1日現在

月	旬	農業会議	会議等出席者	その他
10月	上	全国農業新聞普及月間 農地管理・流動化推進月間		東日本ブロック農委会職員現地研究会 (10/9(木)~10(金)山形県天童市)
	中	農業委員研修(西3(金)) 農業委員研修(南8(水)) 区・北多摩職代・部会長研究集会(16(木))羽村市 常任会議員会議/監査会(17(金)) 西・南多摩職代・部会長研究集会(22(水))小平市	農業委員・職員 農業委員・職員 職代・部会長・職員 常任会議員・監査員 職代・部会長・職員	
	下	賛助員協議会(7(金)) 女性農業委員・職員研修会(11(火)) 常任会議員会議(17(月)) 農業委員会活動推進フォーラム(21(金):府中市) 会長現地研究会(25(火)~26(水):大阪市・箕面市) 農業者年金制度推進研究会(27(木)) 地区別職員検討会(島しょ28(金))	会長・主管課長 女性農業委員・職員常任会議員 農委代表・職員 会長・職員 推進員・職員 職員	島しょ農業振興現地研究会 (11/5(水)~6(木))
12月	上	地区別職員検討会(区2(火)、南3(水)、西5(金)、 北南9(火)、北北11(木)、北西12(金)) 常任会議員会議(17(水)) 農地利用方策研究会(18(木))	職員 常任会議員 対象農業委員・職員	全国農委会長代表者集会 (4(木))
27年 1月	中	常任会議員会議(16(金)) 冬季地区別検討会(島しょ15(木)、南20(火)、区21(水)、 北西23(金)、北北27(火)、北南29(木)、西30(金))	常任会議員 会長・職代・職員	
	下	組織・活動検討会(3(火)) 農業委員会活動研究会(5(木)) 組織・活動検討会(9(月)) 常任会議員会議(17(火)) 第56回東京都農業委員・農業者大会(26(木):昭島市)	地区協ほか 該当職員(*) 地区協ほか 常任会議員 農委・職員ほか	
3月	上	主任職員協議会(6(金)) 農業会議通常総会/常任会議員会議(17(火))	職員 会長/常任会議員	都職研役員会 (6(金))

* 該当職員=地区協議会正副会長・役員が所属する区市町村の職員ならびに職員研究会正副会長
* 地区協=地区協議会・連合会正副会長
上記日程につきましては、変更する場合がありますのでお読み下さい